
第1地域 RRFC 便り6月号



(この写真はロータリーボイスの表紙の写真です。)

【資金モデルの変更】

ロータリー財団は、資金モデルへの大幅な変更を発表しました。この変更は 2021 年 7 月 1 日から有効となります。詳細はこちら

この変更についてより良くご理解いただくため、3 月 17 日にロータリー財団管理委員会と国際ロータリーのシニアスタッフによるウェビナーが開催され、変更の内容を詳しくご説明するとともに、皆さまからのご質問にお答えしました。ウェビナーの記録は近日中に送られる予定です。

1. ポリオプラスへの地区財団活動資金(DDF)の寄贈に対しては、国際財団活動資金(WF)から、100%ではなく、50%が上乗せされる。

<質問>ビル&メリンダ・ゲイツ財団との関係への影響はありますか <回答>ありません。

2. グローバル補助金のための、DDF 拠出に対する WF からの上乘せが、80%に引き下げられる。 <質問>これは一時的な変更でしょうか <回答>需要と供給のバランスが変わらない限り、戻る見込みは低いです。

3. 年次基金(シェア)への寄付の 5%が、運営費として WF と DDF から均等に差し引かれる。 <質問>毎年引かれますか <回答>はい。

<質問>2021-22 年度 DDF への影響はありますか <回答>DDF が 47.5%となるのは、2024-25 年度からです(寄付の 3 年後)。

<質問>地区補助金の申請上限額への影響はありますか <回答>年次基金(シェア)への寄付から 5%が引かれ、 DDF となった金額(寄付の 47.5%)をもとに計算します。

4. DDF の未使用額を繰越しできるのは 5 年間のみとなる。

<質問>どのように計算しますか <回答>その年度の DDF が使い果たされた場合、古い年度の繰越から順に利用 されます。

(下記図)

<質問>簡単に確認できるレポートがありますか <回答>新しいレポートが検討されています。

	2020-21	2021-22	2022-23	2023-24	2024-25	2025-26
新しいDDF		\$50,000	\$50,000	\$50,000	\$50,000	\$50,000
繰り越しDDF		\$20,000	\$30,000	\$35,000	\$30,000	\$20,000
DDFの使用		-\$40,000	-\$45,000	-\$55,000	-\$60,000	-\$65,000
繰越残高	\$20,000	\$20,000 \$10,000	\$20,000 \$10,000 \$5,000	\$15,000 \$10,000 \$5,000 \$0	\$5,000 \$10,000 \$5,000 \$0 \$0	\$0 \$0 \$5,000 \$0 \$0
年数:		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目

(この資料は財団 NEWS5月号から転載しています。)

【年次基金寄付ゼロクラブゼロにご支援を】

新型コロナウイルス感染拡大により、クラブの取り組みや会員の皆様の生活へ大きな影響がある中でも、ロータリーを支えるための寄付をお寄せいただき誠にありがとうございます。クラブ会員のお一人でも年次基金へご寄付をいただければ年次基金寄付ゼロクラブではなくなります。今年度も年次基金寄付ゼロクラブゼロの目標達成に向け、引き続きご協力をお願いいたします。(羽部記)

(地区別年次基金寄付ゼロクラブ数 2021年5月21日現在の各地区の現状

は下記の通りです。)

地区	クラブ数	地区	クラブ数	地区	クラブ数
2500	10	2620	9	2740	3
2510	7	2630	2	2750	4
2520	8	2640	7	2760	0
2530	4	2650	0	2770	2
2540	12	2660	1	2780	1
2550	1	2670	3	2790	1
2560	1	2680	2	2800	2
2570	0	2690	5	2820	0
2580	1	2700	2	2830	3
2590	0	2710	2	2840	2
2600	2	2720	5	合計	118
2610	2	2730	14		

地区内の年次基金寄付ゼロクラブの確認は「月次寄付レポート」をご参照ください。※通常、ご寄付から約2週間後にレポートへ反映されます。

«My ROTARY にログイン→「ロータリー財団」にカーソルを当てて、表示されるメニュー内「各種レポート」→「地区のレポート」→「寄付&認証」の「レポートを見る」→月次寄付レポート»

今年もゼロクラブゼロに向けての特段のご支援を宜しくお願いいたします

【深刻な状況にあるインドに支援のお願い】

私たちは、2021 年が、世界が新型コロナウイルスから解放される年になるだろうと期待していました。しかし、インドで第 2 波が深刻化し、ブラジルの状況も悪化するなど、落胆を隠せない状況となっております。新型コロナウイルスから無傷でいられる地域はありません。

ワクチンの開発と配布は、世界の一部地域において、希望と期待、そして正常な状態への回復というビジョンをもたらしました。しかし残念なことに、多くの地域では大幅に遅れが生じており、最近の大規模感染により、これまでで最も高い感染レベルに達しています。

患者の数は 1 日に 40 万を超え、深刻な酸素不足、病院のベッド不足、死者数の増加など、インドでの惨状は一向に緩和する気配がなく、支援が急務となっています。また、ブラジルをはじめとする数多くの国も同様の問題に直面しており、支援の必要性が高まっています。

このため現在、酸素濃縮器や人工呼吸器などの物資や機器、その他必要なものを送り、支援を行うことを呼びかけております。地区内クラブと協力し、物資を必要としている国のロータリークラブと連携して物資の現物支給を促進し、業者を通すか、あるいは自費で物資を発送するための調整を行っていただくことを進言させていただきます。また、ほかのクラブや地区、地元団体と協力して作業を行うこともできます。

地区、クラブ、会員によっては既に物資やサービスを提供しており、ブラジルやインドを支援するために既成概念にとらわれずに行動を起こしています。以下がその例となります。

- ロータリー第 6400 地区とエセックス・ロータリークラブは、インドのロータリー新型コロナ・タスクフォースと協力し、酸素濃縮器を提供するための寄付を募っています。
- ロータリー第 6900 地区は、UPS などの他団体と協力し、人工呼吸器、麻酔器、酸素、呼吸用器具などの医療機器をインドに発送しています。

- マドラス・ロータリークラブは、200万回分のワクチンを輸送できる8フィートの冷蔵トラック2台を寄贈しました。ケララ州のロータリークラブはこの3週間に、ロータリーセンターや医療キャンプを通じて、約51,000回の無料ワクチン接種を行いました。
- 米国のロータリアンは医療用具を調達し、インドに送っています。イリノイ州ロックフォードのクラブは、民間の航空会社と調整し、ジェット機で機材を送りました。
- ロータリー青少年交換の学友会が、酸素濃縮器50台を調達するためのクラウドファンディング・キャンペーンを開始しました。
- ブラジルでは、ロータリー会員が新型コロナワクチンをよりよく配布するためのコールドチェーンを改善する方法を検討しており、冷蔵設備の資金を調達するための支援を必要としています。

私たちはロータリアンとして、奉仕の名の下に結束し、コロナ禍の間、革新的な方法で地域社会を支援してきました。今こそ、インドやその他の危機下にある国が暗闇の先に光を見出し、現在の感染の波を乗り越えることができるよう、皆さまよりご支援をいただきますようお願い申し上げます。心を込めて

ホルガー・クナーク（国際ロータリー会長）

K.R. ラビンドラン（ロータリー財団管理委員長）

【インド第3000地区から支援依頼が来ています】

この依頼は長く第2770地区との交流を続けている第3000地区からです。インド・タルミナード州では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い住民が大変な苦境に立たされている報道がなされ、第3000地区のARRFCのGopaiさんから我ら第1地域の井原實RPICへ下記の要請がありました。そこで第1地域でDDFの残高が残されている地区に1万ドル或いは5千ドルをご協力していただけないでしょうか。この資金は以下の要領で使用される予定です。

- 1) 第3000地区タルミナール州に酸素濃縮器を装着する。
- 2) 移動予防接種車を設ける
- 3) 孤立している患者に対してSIDDHA MEDICIN Kitを送る
- 4) 酸素再生プラントを50床程度の病院に設置する。酸素プラントはコロナ後にも使用し続けることが出来るのでメリットが高い。1プラント7万ドル必要。

5) これらのご支援にご協力を戴ける地区や会員がおられましたら下記にご連絡をお待ちしています。皆様のご支援を心からお待ち申し上げます。

井原寛 VYF00031@nifty.com

羽部大仁 erinji.habu@gmail.com

【コロナ禍での地区運営と財団支援に敬意と目標達成にご尽力をお願いいたします】

2020-21 年度ホルガー・クナーク会長の年次テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」です。しかし、年度が始まってからはコロナ禍での地区運営に苦辛されたに違いありません。クナーク会長は良く「ピンチをチャンスに」と仰っておられました。結果的にバーチャルでの会合が多くなり、それに伴う環境づくりが驚異的に進展したことはコロナの副産物であったかも知れません。ネット通信による情報の共有は、ウェビナーや E ラーニングで研修が容易に学習できるようになりました。これもコロナ禍で必要に迫られて開発されたまさにピンチがチャンスに繋がった良い事案であったように感じています



(この写真は東京広尾ロータリークラブ TAC トーストマスターズ、Canadian International School インターアクトクラブの合同会合)
この写真はロータリーボイスで紹介された記事です。

【グローバル補助金】



2021年7月1日から補助金モデルに変更が加えられます。[詳しく](#)

[くはこちらをご覧ください。](#)

グローバル補助金は、ロータリーの[重点分野](#)に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支援します。クラブと地区は、グローバル補助金を通じて地域社会のニーズに対応する活動を行うことで、グローバルなパートナーシップを強化できます。

グローバル補助金プロジェクトの立案に関する詳細は、「[グローバル補助金ガイド](#)」をご覧ください。この資料では、補助金の申請、実施、進捗と最終報告について説明されています。

グローバル補助金による活動の種類

グローバル補助金は、次のような活動に使用できます。

- 人道的プロジェクト
- 奨学金：大学院レベルの留学
- 職業研修チーム (VTT)：専門職業に関する研修を提供するチームや、研修を受けるチームを海外に派遣

支給額と支給方法

グローバル補助金の最低予算は 30,000 ドルであり、国際財団活動資金 (WF) の最高授与額は 400,000 ドルです。補助金提唱者は、

地区財団活動資金（DDF）、現金、および／または[冠名指定寄付と恒久基金の収益](#)を組み合わせ、グローバル補助金に充てることができます。財団は、すべての DDF 寄贈に対して同額（100%）の WF を上乗せします。国際財団活動資金（WF）の授与額に下限はありません。

資格条件

活動が実施される国の地区とクラブおよび援助国側の地区またはクラブは、グローバル補助金を申請する前に、参加資格認定を受けなければなりません。詳しくは[参加資格認定のプロセスと補助金管理のコース](#)補をご参照ください。地区財団活動資金（DDF）の利用計画やクラブの参加資格認定方法については、クラブと地区ロータリー財団委員長がサポートを提供します。

申請書の提出にあたってのヒント

しっかりとしたプロジェクト計画とグローバル補助金の申請書を仕上げるために、計画の早い段階から地元の専門家と相談しましょう。地区リソースネットワーク（以下参照）がそのお手伝いをすることができます。

申請書が承認されるには、プロジェクト、奨学金、職業研修チームの

活動で、以下の要件が明確に記載されていなければなりません。

- 持続可能であり、補助金の資金が使い尽くされた後にも活動成果を長期的に持続させるための計画を含んでいること
- 測定可能な目標を持っていること
- ロータリーの[重点分野](#)のいずれかに該当すること
- 地域社会のニーズに応えること。人道的プロジェクトまたは職業研修チームを支援するためにグローバル補助金を申請するすべてのクラブと地区は、まず[地域社会の調査](#)を実施し、調査で学んだことを基にプロジェクトを立案しなければなりません。
- ロータリアンと地域社会の人々の両方が積極的に参加すること
- 補助金の「[授与と受諾の条件](#)」に記載された要件を順守すること

グローバル補助金は、年度を通じて随時[申請する](#)ことができ、申請が受理された順に審査が行われます。詳しくは、[グローバル補助金の流れ](#)をご覧ください。

留意事項：提唱クラブまたは提唱地区は、8月、9月、10月のいずれ

れかに留学を開始する奨学生の申請書を、6月30日までにロータリー財団に提出する必要があります。

モニタリングと評価

プロジェクトのモニタリングと評価はグローバル補助金プロジェクトにおける重要な要素です。適切なモニタリングと報告を行うことによって、ロータリー補助金が地域社会にとって好ましい変化をもたらしたことを確認できます。

グローバル補助金のモニタリングと評価について詳しくは、[こちら](#)をご覧ください。

また、グローバル補助金の報告はオンラインで提出する必要があります。報告書の準備のため、[こちらのテンプレート](#)をダウンロードしてご利用ください。

地区リソースネットワーク

ロータリーの重点分野、グローバル補助金、プロジェクト計画などの分野に詳しい地元のメンバーが最も頼れるリソースとなるでしょう。これには、学友、ローターアクター、ロータリー行動グループメンバー、[ロータリー財団専門家グループ](#)も含まれます。実施予定のプロジェクトの種類に詳しい専門家グループメンバーからプロジェクトの

立案・実施に関する助言を得ることを希望する場合は、
cadre@rotary.org にご連絡ください。

また、地区リソースネットワークの人たちを紹介してもらうよう、地区国際奉仕委員長にご連絡ください。地区で国際奉仕委員長が任命されていない場合は、地区ガバナーと協力するか、
rotary.service@rotary.org までご連絡ください。

リソース&参考資料

- [グローバル補助金ガイド](#) (PDF)
- [地域調査の方法](#) (PDF)
- [協力団体の覚書](#) (ワード)
- [グローバル補助金 小口融資プロジェクトに関する補足書式](#)
(ワード)
- [グローバル補助金申請のテンプレート](#) (ワード)
- [グローバル補助金 計算表](#) (XLS)
- [グローバル補助金 地域社会調査の結果フォーム](#) (ワード)
- [グローバル補助金 モニタリングと評価の計画](#) (PDF)
- [グローバル補助金 小口融資プロジェクト報告書の補足書式](#)
(ワード)

- [グローバル補助金 奨学金の補足資料](#) (PDF)
- [補助金センターのご利用ガイド](#) (PDF)
- [補助金による旅行に関する情報](#)
- [グローバル補助金の流れ](#)
- [持続可能なプロジェクトの立案 6つのステップ](#) (PDF)
- [ロータリー財団 地区補助金とグローバル補助金 授与と受諾の条件](#) (PDF)
- [グローバル補助金 研修計画](#) (ワード)
- [職業研修チームの日程表](#) (ワード)
- [職業研修チーム：メンバー申請書](#) (ワード)

重点分野のリソース

- [重点分野の基本方針](#) (PDF)
- [「基本的教育と識字率向上」グローバル補助金 授与のガイドライン](#) (PDF)
- [「疾病予防と治療」グローバル補助金 授与のガイドライン](#) (PDF)
- [「経済と地域社会の発展」グローバル補助金 授与のガイドライン](#) (PDF)

- [「母子の健康」グローバル補助金 授与のガイドライン \(PDF\)](#)
- [「平和と紛争予防／紛争解決」グローバル補助金 授与のガイドライン \(PDF\)](#)
- [「水と衛生」グローバル補助金 授与のガイドライン \(PDF\)](#)

ツール

- [補助金の申請プロセスを始める](#)
- [フォーラム](#)で世界中のロータリアンとつながろう
- [ロータリ補助金担当職員 \(PDF\)](#)

【紫陽花の花と正岡子規の紫陽花の句】



『紫陽花や きのふの誠 けふの嘘』

正岡子規は紫陽花の句を多く詠んでいます。中でもこの句は実に人

間の心の模様を詠んだ句だと感じます。

このような色のうつりかわりを「七変化」とよび、子規はその変化を「誠」と「嘘」に色分けして呼んでいます。紫陽花の花ことばは「変わりやすい心」とか「冷淡」といわれています。

これを宗教的に考えて参りますと、実に内面的な部分に存在する自己との葛藤のようなものを子規は、俳句の中に詠んでいると思います。厳しい自己との対面に見たくもない自分自身に気付かされるのではないかと私自身いつも感じている心の模様です。まさに変わりやすい心がここにあると思わずにはおられません。

私は浄土真宗の僧侶です。我が宗祖親鸞聖人は自己に厳しい方で、皆様もご承知のように「煩惱具足の凡夫、火宅無常の世界は、よろずのことみなもって、そらごとたわごと、まことあることなきに、ただ念仏のみぞまことにておわします」親鸞聖人（1173-1262）が常に語っていた言葉として、『歎異抄』に伝えられている言葉です。この文の「そらごと」「たわごと」とは、「空言」「戯言」と書き、うそやいつわりの言葉、中身のない言葉という意味です。

ですから、「世間には、うそやいつわりの言葉、中身のない言葉ばかりで、まことという言葉はないのですが、しかしただ一つ、念仏のみ

がまこと(真実) の言葉なのです」 と親鸞聖人は言っていること
になります。我々人間はそれぞれに都合の良い物差しを持ち出し、そ
れであいつには叶わないと劣等感に苛まれ、あんな奴には負ける筈
がないと優越感に酔いしれているのです。仏法は物差しの必要のな
い世界です。みんなやがて仏様の国に生まれて行く菩薩さまである
と教えられているのです。そのような仏様を拝みあう世界が念仏の
世界です。平等で慈愛に溢れた平和な国がお浄土です。(羽部記)